

# 教育相談だより



天沼中学校では今年度、教育相談全般の取組みについて保護者の皆様にお知らせすることにいたしました。先日の4月と7月の全校保護者会でもお知らせ、ご説明させていただきましたように、31年度から校内に開設される「個別支援教室」について、今号は特集いたします。

## 天沼中の個別支援教育

天沼中では、「特別」支援ではなく、個別支援という名称をつかいません。なぜなら、特別な生徒だけを支援するのではないから。そして、私たち教員にとって、全部の生徒が特別だから、です。その「個別支援」はすべての生徒の「困り感」にできるだけ対応できる取組みを進めてきました。

例えば、おしゃべりウィーク（全校生徒対象）、大人おしゃべりウィーク（保護者希望者対象）、QUテストを元にした生徒への声掛け、ピアヘルピング講座（保護者向け・家庭教育講座）などで、生徒や保護者の皆様の困り感に対する相談体制をつくっています。

こういった活動を支えているのが、個別支援委員会（校内委員会）です。管理職、特別支援教育コーディネーター、各学年担当、養護教諭、スクールカウンセラーで週1回話し合います。

また、スクールカウンセラーは、1年生対象に全員面接を実施します。もちろん、随時、保護者の方、生徒の相談に応じます。必要に応じて、担任、学年、養護教諭、そして、外部機関、医療機関などにもつなげて、よりよい対策、学習環境の提案、教員へのアドバイスをしています。



杉並区立中学校における  
特別支援教室

## その他の外部機関との連携は……

### SSW(スクールソーシャルワーカー)

SSWは、関係機関との連携、家庭訪問による相談や支援、校外での生徒の学習、生活支援と助言などで生徒やご家庭をサポートしています。

### 学習支援ボランティア

また、授業中、学習支援をしてくれる学生ボランティアがいます。一斉授業の中で、生徒によっては個別にアドバイスをすることでより授業がわかるようになることを期待しての導入です。毎日全クラスにいてほしいのですが、今のところ週に2～3回、一クラスに入ってもらっています。

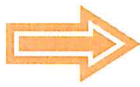
## 外部機関のうち……

外部の教育関係機関にはさまざまなものがありますが、そのうち、「中瀬学級」のような通級教室が次年度からなくなります。その代わりにできるものが、全校の校内に設けられる「特別支援教室」ですが、天沼中では、この教室の名前をこのように決めました。

# 開設！ 天沼ほっとスペース ～多様性を認め合う学校～

### 《設置の目的》

【生徒の特性を生かすための環境を整える】→【在籍学級での生活の安定と学習の充実】



それをみんなで理解し、互いに生かす関係性をつくる

### 《場所》

3階トレーニングジム隣 場合によっては4階の相談室を併用します。

### 《設備》

- ・エアコン 間仕切り 机・椅子 ホワイトボード
  - ・棚 ・教材(教科・SSTなど100冊程度)
- その他、検討中です。

### 《場所としての授業内活用方法》

- 授業時間内(週1日)個別指導計画に基づく個別指導(巡回指導教員の指導が受けられます)

### 《授業内での個別指導申込》

- 申込みが必要です。9月28日までに学校にご提出ください。申込用紙、ご相談は下記まで。

### 《場所としての、授業外活用方法》

放課後の自習教室・放課後の個別指導・グループ学習室として活用する予定です。

一人ひとりの違いに合わせた学習方法やコミュニケーションスキルを、保護者の方とも相談しながら進めていけるシステムです。このシステムが、天沼中の中でしっかり根付き、成果を挙げるためにも、保護者の方のご理解が必要です。今年度中に試験的実施を始めます。お子さんとも、「いい学習場所ができるね」という会話をさせていただければ幸いです。

### 指導内容・方法の連携



「天沼ほっとスペース」について詳しく知りたい方は、  
学級担任または  
特別支援教育コーディネーター  
(渡邊教諭・中田教諭)へ

共に学び共に支え共に創る  
杉並の教育